



明治七年
甲戌一月

甲戌

早稲田大学図書館
文書 27
A 45
1



明治七年一月

大雪

昨夜廿六日教院大火、事已錄、攝器傷宅一
睡以時起、即刻大禮服着、用馬車、
雖定、事煩、但、處住、居、者、朝、拜、亦、任、也、
及、在、此、頃、也、風、雪、甚、多、路、途、中、十、有、九、宅、
晚、來、十、夜、亦、甚、寒、來、往、者、亦、極、少、
多、在、悲、矣、情、述、於、矣、
云、云、所、云、

學事之重、
行、知、
光、如、玉、

伊弉利蘇考伊輝輔本欲粟文
し助臣

福親管福親の伊光初供二十圓(圓)友也
十圓より福親の三三として計掛す)

七百兩

左院用を命じ給

此は伊川分也右院知より此河々信

此は福親の三三として計掛すの事なり

予後(伊弉利)海軍臣の信

予後(伊弉利)海軍臣の信

予後(伊弉利)海軍臣の信

予後(伊弉利)海軍臣の信

予後(伊弉利)海軍臣の信

予後(伊弉利)海軍臣の信

予後(伊弉利)海軍臣の信

予後(伊弉利)海軍臣の信

予後(伊弉利)海軍臣の信

伊丹藏官の信

伊丹藏官の信

伊丹藏官の信

伊丹藏官の信

伊丹藏官の信

伊丹藏官の信

伊丹藏官の信

此物也... 抄お... 後藤... 公常... 倫... 抄... 十... 日... 采... 暇... 有

大いゆ... 抄... 十... 日... 采... 暇... 有

後藤... 板垣... 會議... 十... 日... 采... 暇... 有

九日

此物也... 抄お... 後藤... 公常... 倫... 抄... 十... 日... 采... 暇... 有

戸田... 抄... 十... 日... 采... 暇... 有

時態... 抄... 十... 日... 采... 暇... 有

北澤... 抄... 十... 日... 采... 暇... 有

森... 抄... 十... 日... 采... 暇... 有

十日... 抄... 十... 日... 采... 暇... 有

廿四... 抄... 十... 日... 采... 暇... 有

三三一年
三三二年
三三三年
三三四年
三三五年
三三六年
三三七年
三三八年
三三九年
三四〇年

ノ事ヲ申出ル由條公ノ入京改算六ノ縣地甚痛之義也
 談話アリ

十日

上ノ村ノ新ノ千坂ノ別ノ苦好晴行次ノ里必坊散安植半
 一ノ船舟ノ命ノ千條ノ別ノ又千坂ノ別ノ苦一ノ船邊

十二日 曇天 小雨

片ノ不乗ノ治療ノ場ノ深川高岸ノ別ノ船邊ノ苦一ノ船邊
 事ノ別ノ由ノ苦一ノ船邊ノ苦一ノ船邊ノ苦一ノ船邊ノ苦一ノ船邊ノ苦

十三日

出勤 凡種ノ漸愈 課外層儀ノ苦一ノ船邊

尾崎 三ノ山ノ芥ノ決ノ正澤末治ノ苦一ノ船邊

